

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成25年10月25日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきます場合があります
 ご了承ください。

診療科名	月	火	水	木	金	
内 科 083-901-6102	循環器科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)
	器科	塩見 浩太郎 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)		塩見 浩太郎 (循環器科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
		末富 建 (循環器科)	赤川 英三 (循環器科)		赤川 英三 (循環器科)	末富 建 (循環器科)
	腎臓科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
	血液内分泌 糖尿病科	藤田 直紀 (血液内分泌・糖尿病科)	村木 和彦 (血液内分泌・糖尿病科)		村木 和彦 (血液内分泌・糖尿病科)	藤田 直紀 (血液内分泌・糖尿病科)
消化器科	原田 稔也 (消化器科)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	花田 浩 (消化器科 肝臓)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	白石 龍 (消化器科)	
呼吸器科		* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午前10時～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	
【専門外来】○神経内科 毎週水曜日 *古賀 道明医師の診察となります。 ○リウマチ科 毎週金曜日 *久保 誠医師の診察となります。						
外 科 083-901-6107	1診	小林 俊郎 (心血管・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)	郷良 秀典 (心血管・呼吸器)	神保 充孝 (呼吸器・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)
	2診	斎藤 聡 (血管・一般)		岡崎 嘉一 (一般・血管)		
【専門外来】○乳 腺 外 来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤 聡 医師の診察となります。						
小 児 科 083-901-6106	1診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師
【受付時間】午前8時30分～11時30分 【乳児検診・予防接種】月曜日・水曜日・金曜日 午前10時～11時						
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	豊田 英樹	随 時	豊田 英樹	豊田 英樹	豊田 英樹
	2診	菅田 裕士	手術日	菅田 裕士	菅田 裕士	菅田 裕士
○豊田医師 水曜日・金曜日 午前10時～ 診療開始 ○菅田医師 月曜日・木曜日 午前10時～ 診療開始 ○水曜日のみ午後受付あり 午後3時～4時(新患・再来) ○火曜日のみ午前9時30分～診療開始 非常勤医師による診察となります。						
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田 幸雄	北原 哲博	※完全予約制 湧田 幸雄	休 診	北原 哲博
	○北原医師のみ 【受付時間】午前8時30分～10時					
整形外科 083-901-6108 ※初診は完全紹介制	初診	井上 裕文 (脊椎・外傷)	三原 修三 (肩関節・外傷)	手術日	※完全紹介予約制 岸本 哲朗 (脊椎・人工関節)	大野 晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	※三原・井上・大野が 順番で診察	井上 裕文	三原 修三
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	* 非常勤医師	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三
	○不妊外来(火)午前のみ ○妊婦健診(月)午後1時～午後3時30分 要予約					
眼 科 083-901-6123 ※初診は完全紹介制	1診	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診
	○毎週水曜日(院外紹介可) 午前9時～午前11時 *山口大学より非常勤医師の診察となります。					
皮膚科 083-901-6110	1診	* 非常勤医師 第3・4月曜日	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師 第1・2金曜日
	○毎週水曜日(院外紹介可) 午前9時～午前11時 *山口大学より非常勤医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	城甲 啓治	大場 一生	大場 一生

* 印は非常勤医師

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。CT・MR・RIは直接ご予約できます。 CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 月曜日～金曜日 RI予約 083-901-6154 午前8時30分～午後6時 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551 (※心筋シンチについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177

地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子
-------	--

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、または病院宛にご郵送等にてお願いいたします。

Life No.62

済生会山口総合病院広報誌 平成25年11月10日発行

済生会山口総合病院 TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714 〒753-8517 山口市緑町2-11

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ No.62

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院

山口県済生会山口総合病院

発行: 地域連携推進プロジェクト 広報チーム
 発行責任者: 院長 湧田 幸雄
 〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL: 083-901-6111(代表)

2013年11月号

Q: 頭頸部がんってどこのがんですか？

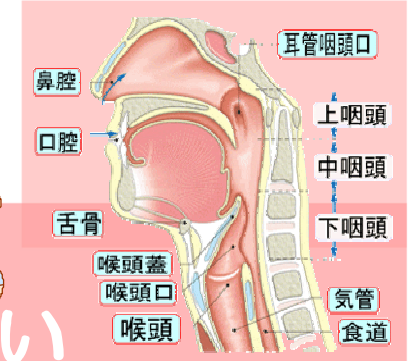
A: 頸から頭部のうち、脳と眼、歯を除く部位に発生するがんの総称で、発生する部位によって、さらに呼び方が変わってきます。舌がん、喉頭がん、咽頭がん、耳下腺がん、顎下腺がん、甲状腺がん、副鼻腔がん、外耳がんなどがあります。

Q: あまり聞きませんが、多いのですか？

A: 発生数は全がんの約5%と少なく、日本では年間10万人に8人の確率です。

Q: どんな症状がありますか？

A: 発生する部位によって症状が異なりますし、症状が出てにくい部位もあります。喉頭がんや咽頭がんは、声がかすれたり、飲み込みにくくなったりします。舌がんは普段治る口内炎がなかなか治らなると注意が必要です。甲状腺がんや副鼻腔がんは小さいうちは症状がありません。



いろいろ知ってほしい 頭頸部がんについて

とうけいぶ

耳鼻咽喉科部長 菅田 裕士

Q: どこで診てもらえますか？

A: 頭頸部がんは耳鼻咽喉科で診ます。気になる症状があれば、まず耳鼻咽喉科を受診しましょう。

Q: 治療はどのような方法がありますか？

A: 手術、放射線治療、化学療法があります。発生した部位や進行の度合によって、単独だったり、複数を組み合わせたたりして治療を行います。

Q: 頭頸部がんにならないために気を付けることができますか？

A: 飲酒・喫煙が頭頸部がんの危険因子です。喫煙によって、喉頭がんの発生率は3.2倍にも増えます。飲酒によって、咽頭がん、喉頭がんの発生率は6倍にも増えます。ウイルス(EBウイルスやヒトパピローマウイルス)が関係してくるがんもあります。頭頸部がんにならないためには、まず禁煙・禁酒が大切です。

理念: 私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針	一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
	一、良質の医療サービスを提供します。
	一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利	1. 平等で適切な医療を受けること
	2. 尊厳が守られること
	3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
	4. プライバシーが守られること
	5. 自らの意思で医療を選択すること

豪雨災害の復旧支援活動について

平成25年7月28日に山口県・島根県を襲った集中豪雨により、山口市内各地域で甚大な被害が発生しました。被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。この豪雨災害に災害支援ナースとして、当院より2名の看護師が復旧支援活動に参加しましたので、その活動についてご紹介します。



このたび私は、7月28日に起きた山口島根豪雨災害により被害を受けた須佐地区へ災害支援ナースとして山口県看護協会より派遣され、活動をしてきました。期間は8月4～6日で、用務は被災地に来られたボランティアの方々の健康管理・衛生教育・心のケアなどでした。

須佐地区の被災状況は、思っていた以上にひどく、ボランティアの方々や住民の方々は、庭や家の中に入り込んだ泥を運び出したり、泥だらけになった畳や家具を懸命に運び出されていました。

30℃を超える猛暑の中で活動されるボランティアの方々が、健康で安全に活動できるように、出発前には休憩や水分補給の声掛け、マスク・手袋の着用指導、また巡回時には冷タオルや水を配りながら休憩や水分補給を促し、さらに終了時には手洗いやうがい、手指消毒を促すことで、熱中症や感染症の予防を行いました。

大きな怪我や体調不良もなく無事に3日間活動できたのも、早く送り出していただいた病院や家族のおかげです。今回の活動は私にとって貴重な経験となりました。

被災された方々が1日も早く、元の生活に戻ることが出来るよう心から願っています。

集中治療部 堤 恵子



去る7月28日、阿東地区で豪雨災害が起こり、山口県看護協会の要請により、災害支援ナースとして私は徳佐方面で活動を行いました。

住民の方々の健康管理は社会福祉協議会の保健師さんが担当し、私はボランティアの方々の健康管理及び衛生管理を主に行いました。

先発隊であり、資材の調達から始めなければならない状況下での活動でした。炎天下の中、幅広い年齢層のボランティアの方々が活動されており、その中で活動場所の巡回をし、熱中症が疑われる方の看護、及び飲料水の配付や休憩を促す声掛けなどを中心に行いました。また、衛生環境が整わない状況のため、手指衛生やうがいができる場所の確保と器具の配置を行いました。

昨今、国内外を問わず災害が頻発しています。医療職の一員として個々の役割を遂行するには、まず自分に出来ることを知ること、また関心を示すことから始まるのだと、今回の活動を通して感じました。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日でも早く元の生活に戻れるよう心より願っております。

救急部 小井手 智恵

災害支援ナースについて

東日本大震災をきっかけに、全国の災害支援ナース数は、4,800人からおよそ7,000人に増加しました。災害支援ナースは、被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供する一方、被災した看護職の心身の負担を軽減し、支える役割を担っています。



怖がらなくても大丈夫！放射線 Q&A

放射線を使う検査と聞くと、心配に思う方も少なくないと思います。しかし、放射線診断に伴う患者さんの被ばく線量は、放射線障害が発生する可能性のある線量に比べて低いので、放射線の影響を心配する必要はほとんどありません。ここでは放射線診療でのよくある疑問にお答えします。

Q. 何度もX線検査を受けていますが、大丈夫ですか？

A. 大丈夫です。

病気の診断・治療をするためにはX線検査は大事な検査です。1回に受ける放射線の量はごくわずかですので心配はいりません。また、人には回復現象（細胞や組織には、放射線による損傷を修復する能力）があります。



Q. なぜ、検査の時に服を脱ぐの？

A. 衣服を着ていると衣類・ボタン・ネックレス・湿布などが写真上に写りじゃまになります。

最近では、エレキバン・カイロ・Tシャツのプリントなどの影響も出てきています。また、姿勢や位置を正しくし、より良い検査を行うために、患者さんのプライバシーを保護しながら、脱衣をしていただいています。ご協力をお願いします。



Q. X線検査を受けるとガンになるのでは？

A. X線検査でのガンの心配はありません。

人体が大量に受けて白血病やガンになる放射線量は、一度に200ミリシーベルトを越える量です。この放射線量以下では人体にガンが発生したという確証はありません。

詳しくは、山口県診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

職場紹介コーナー

外来



外来は、日常の診療をはじめ、専門外来や特殊外来も行っています。支援外来では、予定入院患者さんに対して、診療スケジュール表に沿って、入院前から退院までの予定の説明などを行い、患者さんが安心して入院できるように支援をしています。

また、「癒しの空間」として毎月季節に応じた飾り付けを行い、「おもてなしのこころ」を大切にしています。

病棟をはじめ各部門と連携しながら、患者さんの不安の軽減を図り、安全・安心な医療・看護が提供できるように日々努力しています。

健康講座

「胸痛を自覚して、心臓のことが心配になったら・・・」



テーマ：狭心症の検査

地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように毎月1回健康講座を開催しております。参加無料です。お気軽にご参加ください。

日時：平成25年12月13日(金) 午後3時～午後4時

場所：済生会山口総合病院 4階大会議室

講師：内科部長 赤川 英三 (循環器)

